

総務常任委員会資料
健康福祉部生活援護課

議案第40号

令和5年度宝塚市一般会計補正予算（第10号）

資料1（249～251）生活保護事業について

（単位：千円）

令和5年度	① 予算額	② 実績額	③ 見込額	④ 合計（②+③）	補正額（①-④）
生活扶助費（※）	2,293,312	1,508,286	855,953	2,364,239	70,927
医療扶助費	1,974,271	1,359,842	693,745	2,053,587	79,316
介護扶助費	93,944	71,090	36,766	107,856	13,912
計	4,361,527	2,939,218	1,586,464	4,525,682	164,155

3月補正額 164,155千円

②実績額（令和5年4月～令和5年11月）

③見込額（令和5年12月～令和6年3月）

※ 生活扶助費については、医療扶助費及び介護扶助費を除いた扶助費

<補正理由>

【生活扶助費】

令和5年3月末時点で保護世帯数が2,022世帯で保護世帯員数は2,643人、令和6年1月末で保護世帯数が2,049世帯で保護世帯員数は2,632人です。

新たに保護開始となるケースの増加により、増額を見込んでいます。また、開始ケースについては、高齢世帯が多く、就労収入や仕送りの減少に伴う預金の減少により保護が開始となっています。

【医療扶助費】

高齢世帯の保護開始ケースの増加に加え、保護受給者の高齢化による通院費と入院費の増加や新型コロナウイルスが2類から5類に移行したことによる受診控えが収まってきたことにより、増額を見込んでいます。

【介護扶助費】

高齢世帯の保護開始ケースの増加に加え、受給中の高齢世帯の中でも80歳以上となる方が増えていることで、介護サービス費の利用や施設入所により、増額を見込んでいます。